

みんなわくわくのびのびえがおで
子どものよさをのび 毎日がわくわくする 三輪野江小

「開校記念日」

校長 浦井 智治

6月25日（日）、三輪野江小学校は150年目の開校記念日でした。6月27日（火）の校長講話では、三輪野江小学校の始まりについて子供たちに話をしました。

三輪野江小学校は明治6年（1873）、時習学校、致高学校、上笹塚学校が寺院をかりて開設されたのが始まりです。明治8年（1875）には時習学校は土場学校に、致高学校は吉屋学校に名前を変え土場学校の分校として中井学校が設置されたと考えられています。明治6年の開校当初は、時習学校は児童数、男子70名、女子6名、教員3名、致高学校は児童数、男子95名、女子12名、教師2名、そして、上笹塚学校は児童数、男子24名、女子7名、教師1名でした。3つの学校を合計すると児童数、男子189名、女子25名、合計で214名。現在の三輪野江小学校の児童数195名と19名しか変わらないのです。

そして、明治27年（1894）に土場学校は、土場の藤波治助屋敷跡に校舎を新築し「第一 三輪尋常小学校」と改称しました。そして、分校の中井学校が「第二 三輪尋常小学校」となりました。さらに、明治41年（1908）に第一・第二 三輪尋常小学校と深井新田尋常小学校が合併して、三輪野江尋常小学校になりました。翌明治42年（1909）には、大字加藤に校舎が新築されました。

三輪野江の三輪という字が使われた明治27年の三輪尋常小学校第1号の卒業生は、永瀬金蔵氏の名前が卒業証書授与台帳に期されています。それから、6223名の卒業生が巣立っていきました。

開校記念日に改めて教職員一同、三輪野江小学校の歴史の重みを感じ、身が引き締まりました。今後とも三輪野江小学校の教育活動に関しましてご理解ご協力をお願いいたします。

※6月17日（土）PTA家庭教育学級にて学校の教育方針について話をさせていただきました。多くの保護者の方にご視聴いただきありがとうございました。その時に見ていただきました動画につきまして、共有してほしいとの声がありましたのでQRコードを添付いたしました。

「What would Christmas be without love?」

**学校教育目標 あきらめず挑戦できる子**

・勉強する子・やさしい子・元気な子

児童数 1年27名 2年24名 3年30名 4年32名
5年36名 6年37名 ひた9名 合計195名

令和5年7月3日 発行

2日は「なまずの日」

〒342-0022

吉川市加藤641番地

TEL 048-982-2330

FAX 048-984-5271

**7月の行事予定**

日	曜	行 事 予 定
1	土	
2	日	
3	月	水泳学習 1・6年, 3・4年 なまず給食
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	委員会活動
8	土	
9	日	
10	月	水泳学習 1・4年, 2・3年, 5・6年
11	火	
12	水	
13	木	
14	金	4年校外学習（環境センター等）クラブ活動
15	土	
16	日	
17	月	海の日
18	火	4時間授業・給食終了日
19	水	一斉下校・通学路点検 1学期終業式3時間授業
20	木	3時間授業・5年生林間学校（栃木県奥日光方面）
21	金	夏季休業日開始 5年生林間学校（栃木県奥日光方面）
22	土	
23	日	
24	月	学校保健委員会
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	子ども体験活動（寺子屋）※申込者のみ
8/28	月	特別日課3時間 第2学期始業式

夏休み中は、一人一台端末（Chromebook）は家庭で保管し活用してください。

目指せ プロ野球選手（体験学習）

元プロ野球（西武ライオンズ）選手が来校し、3・4年生の児童に野球教室をしてくださいました。児童は、ワクワクしながら楽しいひと時を過ごしました。

**高齢者の気持ちになって…（福祉教育）**

6年生が吉川市社会福祉協議会のご協力をいただき、高齢者疑似体験を行いました。体が自由に動かない簡易装具をつけたり、色の識別がしにくい眼鏡をつけて、細かいものを箸でつかんだりしました。体験後は、「とてもよい体験ができ、高齢者のお手伝いをしてみたい。」という感想をもつ児童が多くいました。

**シリーズで伝える三輪野江小学校の昔話③**

学校の正門わきに、二宮尊徳像があります。昔はどこの学校にもありましたが、老朽化や学校の立て直し等の理由で、減少しているそうです。本校の銅像は、昭和35年11月26日に再建され、除幕式が行われました。再建前は、昭和15年に寄贈され、戦争中は武器の一部に加工したため、コンクリート像となり、何度か造り換えられ、現在の銅像となりました。銅像の足元に川崎市の小澤様からの寄贈と記されています。現在、この二宮尊徳像は市内の学校には、2体しかありません。（もう1体は川崎にあります）



探求型学習への取り組み

5月号の学校だよりの巻頭にて、本校校長より吉川市が探求型学習（PBL）に取り組んでいることや本校も自分自身の課題を見つける学習への取り組みを行っていくことをお知らせしました。このことの具現化として、今後子供たちの学習に関する取り組みを徐々にステップアップさせてまいります。例えばその一例として、授業中の教師からの発問に対して、①自分なりの考えをもつ。②自分で考えた答えを友達に話す。③友達の話聞いて、様々なものの見方や考え方を広める。④新しい課題に気づく という流れを行いながら、より興味・関心を高めてまいります。また、宿題の出し方を、一律同じものではなく、自分で教科や範囲、できる時間を自分で決めて、自分で決めたことに取り組んでいくようなスタイルを導入します。これらは、学年の発達の段階や児童の実態に応じて導入の時期は異なりますが、これからの未来を力強く生き抜く子供たちには必要な力となりますので、この取り組みについてご理解・ご協力をいただけますよう、お願い申し上げます。

7月・8月の下校時刻の変更について（お知らせ）

7月

日	曜	変更を必要とする 行事名	変更後登下校時刻					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
7	金	委員会活動				14:20		
18	火	通常日課 4時間授業 (給食最終日)	13:10	13:10	13:10	13:10	13:10	13:10
19	水	通常日課 3時間授業 (給食なし) 通学班会議・一斉下校	11:40	11:40	11:40	11:40	11:40	11:40
20	木	通常日課 3時間授業 (給食なし)	11:20	11:20	11:20	11:20		11:20

※20日（木）から5年生が林間学校に出発 21日（金）に帰校

8月

日	曜	変更を必要とする 行事名	変更後登下校時刻					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
28	月	通常日課3時間	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20
29	火	通常日課3時間	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20
30	水	通常日課4時間	13:10	13:10	13:10	13:10	13:10	13:10

吉川市教育委員会 学校教育課だより

令和5年 7月号

吉川市教育大綱

家族を 郷土を 愛し
志を立て
夢として生きてゆく

安全で楽しい夏休みを

1 事件・事故から子供たちを守る取り組みのお願い

7月21日（金）より夏休みが始まります。子供たちは、開放感から気持ちがゆるみがちです。安心・安全に生活できるよう地域で子供たちの見守りをお願いします。

また、近年ネットのトラブル、オンラインゲームでのトラブルも増えています。各家庭で休みの過ごし方を改めて確認するようお願いします。

☆ご家族で話し合ってみましょう。

- 1 事故に遭わないためには？
- 2 事件に遭わないためには？
- 3 楽しい夏休みを過ごすには？
- 4 ネットトラブルにあわないためには？

☆緊急時連絡先

吉川警察署	TEL	958-0110
吉川駅前派出所	TEL	983-6731
吉川交番	TEL	982-1442
吉川市少年センター	TEL	981-3863



2 学校閉庁日を実施します

今年度も市内小・中学校で夏季休業日中に「学校閉庁日」を実施します。

期間 8月11日（金）～16日（水）

期間中は教職員が不在となります。緊急の場合は、吉川市教育委員会学校教育課（048-984-3564）まで連絡をお願いします。

熱中症にご注意ください

6月に引き続き、7月以降も暑い日が続くことが予想されます。「熱中症予防3つの備え」に取り組み、熱中症にならないように気を付けて生活しましょう。

「熱中症予防3つの備え」

その1-屋内での備え-

- 1 生活リズムを整え、食事・睡眠をしっかりと
- 2 上手にエアコンを使い、こまめな換気を忘れずに
- 3 のどが渇く前からこまめに水分補給

その2-屋外での備え-

- 1 外出は暑い日、時間を避けて（天気予報を参考に）
- 2 早め早めの水分補給
- 3 日傘、帽子を使い、涼しい服装を

その3-体調不良時の備え-

- 1 めまい、立ちくらみ、手足のしびれは熱中症の危険サイン
- 2 涼しい場所に避難して、服を緩めて体を冷やす
- 3 我慢せず周りの人へSOS #7119へ相談を



毎月第3日曜日は 「家族の日」

8月は 「彩の国家族ふれあい 月間」

家族のふれあいの大切さ、家族の絆、家庭の在り方等についてあらためて考えていただくために8月を「彩の国家族ふれあい月間」と決めました。夏休みは、家族がふれあえる絶好の機会です。家族みんなで力を合わせたり、家族団らんの場をもったりするとよいでしょう。